

3. 野生下におけるトキの確認状況

(1) 個体群構成

①性齢構成

野生下におけるトキの推定個体数は458羽(95%信用区間:425-487羽)である(第23回放鳥完了時点見込み値)。その内訳は放鳥トキが170羽、野生下で誕生したトキが推定288羽となっている。第22回、第23回放鳥および野生下での巣立ちによりトキの個体数は増加している(図1)。なお、定着個体数は333羽、成熟個体数は204羽と推定される。

性齢構成については14歳を最高齢としたピラミッド型の分布に近づきつつあると考えられる(図2)。性比はオス:メス=52:48と推定される。オスの死亡が多かったことおよび2020年に足環装着した野生下で誕生したヒナの性比がオス:メス=11:23でありメスが多かったことから、昨年までと比べて性比の偏りは小さくなっている。



図1 トキの個体数の推移

※2008-2019年は年末時点、2020年は9月24日時点

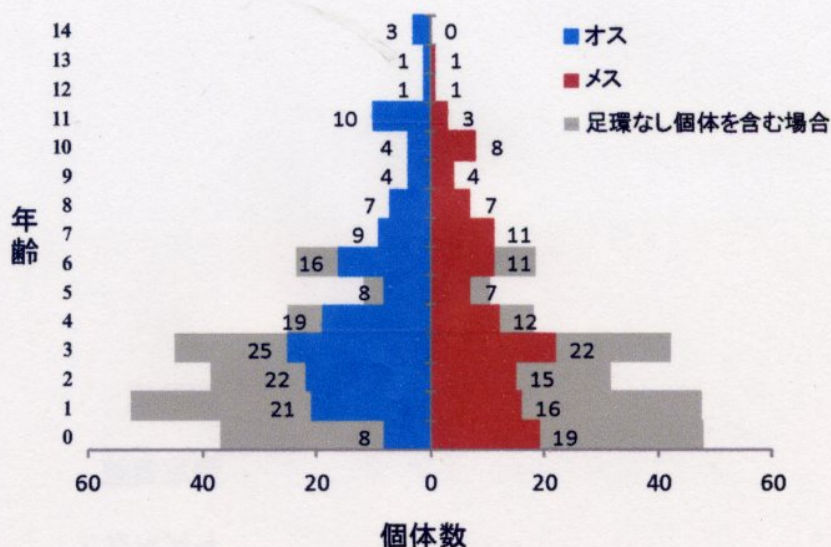


図2 個体の性齢構成 (2020年9月24日時点)

※足環なし個体は雄雌が同数と仮定した